

四季
だより

こただ

秋号

2021
VOL. 19

Contents [目次]

・坂本院長挨拶	2P
・松谷総院長挨拶	3P
・就労支援リハビリテーション プログラムに対するキックオフ ミーティングについて	4P
・抗体検査について	4P
・看護部だより	5P
・リハビリテーション科だより	5P
・栄養科通信	6P
・薬剤科通信	6P
・室内でできる運動について	7P
・連携室だより	8P
・アクセス	8P

五反田リハビリテーション病院

院長交代のお知らせ

2021年10月1日より五反田リハビリテーション病院院長を拝命致しました坂本裕彦です。

リハビリテーションには、患者様がリハビリテーションの意義を理解し、意欲をもって取り組んでいただけること、そして同時に十分な栄養を摂取することが重要と思っております。

患者様とご家族の気持ちがりハビリテーションのエネルギーとなるよう、多職種連携のチーム医療により力を合わせて取り組んでまいります。また、効率性の高いリハビリテーションを目指して最新の知見を取り入れて行くことも重要と考えております。次代につながる回復期リハビリテーションが目標です。

ようやく緊急事態宣言が解除されたとはいえ、コロナの対応に明け暮れる日々が続いています。第6波も予測される中、病院は厳重な警戒を怠る訳には参りません。入院患者さんには面会制限で寂しい思いをさせておりますが、意欲をもってリハビリテーションに励んでいただけるよう医師、看護師、薬剤師、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、ケアワーカー、ソーシャルワーカー、栄養士、事務職一同力を合わせてまいります。ご指導ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。

- 経歴
- 消化器外科医
 - 昭和55年：東京大学医学部卒業
 - 昭和56年：国保旭中央病院外科
 - 昭和58年：東京大学第二外科
 - 昭和60年：静岡県立総合病院外科
 - 平成2年：社会保険中央総合病院外科
 - 平成27年：埼玉県立がんセンター病院長
 - 令和2年：江東リハビリテーション病院
 - 令和3年：五反田リハビリテーション病院 院長就任

このたび院長職を辞し、引き続き一医師として当院でのリハビリテーション医療に従事いたします。2016年春、院長就任後に私が病院で見た光景は、長年脳神経外科臨床に携わってきた者として大きな驚きでした。介助なしには車椅子へ移乗できず移動できなかった視床出血治療後の方が、短距離（自宅内、病院外来内）なら杖歩行が可能となり退院されました。受験勉強中に脳出血で倒れた18歳の女子高校生が、5ヶ月間のリハビリテーションの結果1年遅れで大学に入学いたしました。このような症例を日々経験する中で、私はリハビリテーション医療の力を学ぶと共に、患者お一人お一人の回復への強い意志と努力がそれ以上に大切であることを確信いたしました。当院では、患者毎に異なる復帰への道筋にそってのリハビリテーションを行っております。家庭生活復帰には、ご家族の介助量を最少限にしてあげなければなりません。復職を希望される方には、入院中から勤務先と連携し、スムーズな復職環境を整えてあげることも必要です。退院後の生活が円滑に進むように、原病再発防止の服薬と食事の重要性の指導も大切です。スタッフ一人一人が、日々自分の役割を愚直に、そして丁寧に続けることが求められています。新型コロナウイルス感染症の終焉がまだ見えない状況です。スタッフ一同が協力して安心して安全な医療を続けてまいります。

- 経歴
- 脳神経外科医
 - 昭和43年：東京大学医学部医学科卒業
 - 平成2年：東京大学医学部助教授
 - 平成6年：埼玉医科大学教授
 - 平成19年：埼玉医科大学 国際医療センター病院長
 - 平成25年：美心会黒沢病院脳神経外科、脳卒中センター顧問
 - 平成28年：五反田リハビリテーション病院 院長就任
 - 令和3年：五反田リハビリテーション病院 総院長就任

院長
坂本裕彦

総院長
松谷雅生

就労支援リハビリテーションプログラムに対する キックオフミーティングの開催

厚生労働省の治療と仕事の両立を社会的に支援する「両立支援」事業の一環として、労働者健康安全機構が作成したガイドラインに沿ったプロジェクトが、当院では2021年4月より試行、6月より開始となりました。それに伴って、病院スタッフへの概要説明会を実施しました。

医師、看護師、リハビリスト、MSWらより、各役割についての説明や現時点までの治療症例についての報告を行いました。

回復期リハビリテーションにおける目標である在宅復帰からのさらなる社会復帰に向けた病院全体でのフォローアップ体制の構築を図っていきます。



リハビリテーション科 齋藤

看護部だより



..... 東京2020 オリンピックについて

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、1年延長された東京2020オリンピック。世の中では当たり前だった常識が覆され、3密を避けてソーシャルディスタンスを保つようになり、日常生活や娯楽の殆どが自粛となりました。当院も他人事ではなく、現在も全スタッフ総動員で感染対策に取り組んでおります。



その中で行なわれた東京2020オリンピック。いざ開催すると日本人選手の活躍が目覚ましく、メダルラッシュの日々が続きました。当然ながら応援にも熱が入り、デイルームで過ごしている患者様も日本人選手の活躍を笑顔で見守っていました。私たちスタッフも患者様と一緒に、声を出さずに拍手で応援しました。

オリンピックの応援は、日々の感染予防で大変な病棟内の患者様やスタッフの雰囲気明るくする、とても素敵な楽しい時間になりました。

看護部 橋本

抗体検査について

リハビリテーション科で院内感染に関する業務を担当している岡村です。当院では先日、希望職員を対象に新型コロナウイルスの抗体検査を実施しました。9割以上の職員から希望があり、8月17日から20日までの4日間で多くの職員が検査を受けました。検査内容が採血のみという手軽さも希望者が多かった要因と考えます。私も会場設営や希望者のスケジュール組みなどの手伝いをしましたが、検査中に会場が混雑したり、職員同士が密になったりするような大きなトラブルもなく、安全に4日間の検査を終えることができました。各職員が、今回の検査結果を知ることによって、一人ひとりができる最大限の感染対策を考えて実践するという、「行動」に繋がっていただければ嬉しく思います。



未だ、コロナウイルスが猛威を振るっており予断を許さない状況が続いております。この国難とも言える状況に対して、何が正解かが分からないことが多く苦労や不安の日々ではありますが、部署に関係なく病院職員が一丸となって、知恵を出し合い協力し合い立ち向かう経験が、医療従事者として、私自身の貴重な経験になると信じ、これからも前向きに仕事に取り組みたいです。



リハビリテーション科 岡村

リハビリテーション科だより



ドライブシミュレーターについて

当院に設置されているドライブシミュレーターについて、ご紹介します。脳血管障害および頭部外傷により脳損傷を負われた方が、自動車運転再開を希望された際に医学的な立場から運転適性を評価する事を目的としています。自動車運転では交通状況の視認や前方車との距離感の把握、瞬時の判断など様々な認知機能が必要とされます。そのため、ドライブシミュレーターでの評価を行う前に、様々な評価法を用いて認知機能の評価を行います。その上でドライブシミュレーター



でのアクセル・ブレーキ操作までの反応時間やハンドル操作の正確さ、仮想環境上の市街地コースを走行する等の評価も行い、総合的な評価をしていきます。

運転再開に関しては、今回の評価が全項目で基準値に達していても、運転再開の許可証にはなりません。詳しい免許の運転再開の流れに関しては、当院スタッフにお気軽に声をおかけください。

リハビリテーション科 小川

五反田リハのお食事🍴

回復期リハビリテーション病院(病棟)でのお食事は治療の一環であることはもとより、リハビリをする上で必要な栄養を取っていただく重要な位置づけであると考えております。

月一回以上の行事食に加え、少しでも変化のあるように考えております。また、飲み込みや、噛むことに対しご不便さのある患者様にできるだけ、お召し上がりいただけるよう、また食べることの訓練が円滑に進むようなお食事の形(食形態)をご用意しております。管理栄養士がご入院時から患者様の状況に合わせたお食事を提案いたします。

今回は行事食と少し変化をつけたお食事と当院の食形態の一部をご紹介します。

栄養科 西田

5月

大人の子どもの日 献立

- ・子供のころから好きだったミートソース
- ・エビたっぷりクリームサラダ
- ・ソーダ水に生メロンをたっぷり添えたゼリー等

9月

芋栗南京 献立

秋の野菜シリーズ

- ・芋ご飯
- ・さんまの焼ひたし
- ・グリルカボチャ添え
- ・栗のトライフル等

食形態

一般常食



軟菜食



ムース食



薬のマメ知識

今回は、くすりと食事の時間について説明します。

くすりを飲むタイミングは、食事の時間に合わせて分けると、3つのタイプになります。

食事の前に飲む

「食前」

おなかが空いているときに飲むため、くすりの成分がよく吸収され効きやすくなります。

食事の後、約30分以内に飲む

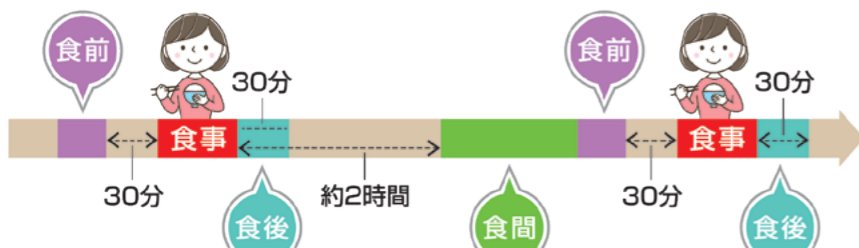
「食後」

胃の中に残っている食べ物が、くすりの刺激で胃が荒れることを防いでくれます。

食事と食事の間に飲む
(たとえば朝食と昼食の間)

「食間」

食事の2~3時間後に飲むことを言います。そのころになると、前に食べた物が消化され、くすりの吸収がよくなります。



くすりの種類によって飲むタイミングが違ってきますので、正しい時間に飲むようにしましょう。

薬剤科 大内

室内でできる運動について

新型コロナウイルスの影響で外出する機会が少なり足腰の筋力低下を引き起こす恐れがあります。そのため、今回は、自宅で足腰の筋力を鍛えることができるトレーニングを紹介します。



使用する道具

- ・背もたれ付きの椅子



運動メニュー

爪先立ち



手順

- 1 背もたれに手を添えて立ちます。
- 2 つま先立ちを行います。

注意点

- ◆過度に腰を伸ばしたり曲げたりすると足腰の力を発揮しにくいので、直立位で行いましょう。

スクワット



手順

- 1 背もたれに手を添えて立ちます。
- 2 足腰の曲げ伸ばしを行います。

注意点

- ◆足腰を曲げる際は、腰を反らしてお尻を突き出すように行うと足腰の筋力を発揮しやすいです。
- ◆深く足腰を曲げると転倒の恐れがあるため控えましょう。

※上記は、あくまで一例です。ご自宅で行う際は、いきなり回数を多く設定して行わず、無理のない範囲で10回程度を目安に行うようにしてください。

リハビリテーション科 小林



医療連携室だより

当院では、患者様が一日も早く快適な日常生活を送ることができるよう、医師、看護師、薬剤師、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護補助者、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー(MSW)といった、各職種がチームとなり、日常動作の改善・向上を目指します。

私たち医療連携室では、当院への入院相談から在宅・社会復帰を実現するまで、段階にあわせて、各関係機関と密に連携をとり、患者様やご家族が抱えるご不安やお困りごとに対してよりよい解決への糸口を見出す支援を



しています。

在宅・社会復帰に向けてのご不安、介護保険制度や障がい者福祉制度等の各種制度など、お気軽にご相談ください。

医療連携室 一同

医療連携室

医療連携室の受付時間
9:00~16:30(月~土曜日)

入院相談 岡澤・三田・森本・澤田

病棟担当 小又・石塚・三浦・黒木・松澤・田口・菊地・宮田・中村・香川

☎ 03-3779-8826(直通)



- 五反田駅(JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線) 徒歩8分
- 大崎駅(JR山手線、埼京線、りんかい線) 徒歩12分
- 大崎広小路駅(東急池上線) 徒歩3分